

大学情報データベース の内容

独立行政法人
大学評価・学位授与機構

趣旨と目的

- 大学等における自己評価や教育研究活動の改善に役立てる。
- 機構における評価に活用する。
- 第三者評価等に対応した作業負担の軽減に資する。
- 大学等の活動に対する国民の理解の増進に寄与する(大学等の意見を十分に踏まえて、今後、慎重に検討。)

活用方法

- 様々な状況が異なる組織の目的に照らした評価に当たっては、**大学の状況や特色を的確に把握した上で行うことが重要**である。
- 大学情報データベースは、各大学等での自己評価を含む**国立大学法人評価の公正性・透明性を確保するための客観的な基礎情報として活用**する。

共通調査票

- 国立大学共通の調査票
- 大学、学部・研究科の教育・研究活動を把握するための**基礎情報**(直接的な評価指標ではない)
- 設定方針
 - 国立大学法人の**中期目標・計画の内容**、および、機構による教育研究評価の現況分析における「**教育・研究の水準の判断**」の項目・基準に**挙げられた資料・データ例との対応**を踏まえて設定
 - 大学側のデータ収集の労力を考慮して、既存調査(学校基本調査等)の項目に配慮
- 収集したデータおよび計算した指標は、国立大学の分布等を示した図表とともに、当該大学および機構の評価担当者に提供
 - 大学による自己評価、機構による評価へ活用

任意調査票

- 大学の教育研究の状況や特徴を把握するためには重要な項目であるが、収集コスト等の面から、現時点では全大学に共通して入力を依頼することは難しいと判断した項目
- 大学のご判断で入力していただく
 - 実績報告書の中で資料・データの一つとして言及可能（添付資料として提出する手間を省略）
 - データを継続的に蓄積すれば、大学において必要な際にデータベースから常時ダウンロード可能
- データは当該大学、機構の評価担当者に提供するが、国立大学の分布を示す図表は作成しない

調査票一覧

| | 共通調査票 | 任意調査票 |
|------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 組織 | 組織登録（3種） | |
| 2. 施設 | 図書館 | 用地、保健センタ、博物館、寄宿舍 |
| 3. 教職員 | 専任教員数、本務教員数（職位別、年齢別、取得学位別、専門分野別）、兼務教員数、職員数、研究員数 | 本務教員数（在勤年数別、学外経験別、前歴別） |
| 4. 学生 | 学生数（年次別）、入試状況（入試区別別、出身都道府県別）、科目等履修生数 | 学生数（年齢別）、入試状況（前歴別）、編入学者数 |
| 5. 教育活動 | 休学・退学・留年等数、卒業・修了者数、学位等授与数、取得資格数、就職者数（職業別、産業別）、TA・RA | 単位修得、単位互換実績、修士・博士論文題目一覧 |
| 6. 学生支援 | | 入学金・授業料、奨学金採用 |
| 7. 研究（外部資金・産学連携） | 科学研究費補助金、競争的外部資金、共同研究・受託研究・受託研究員、寄付金・寄付講座、産業財産権・特許 | |
| 8. 国際交流 | 学生海外派遣数 | 外国人学生数、外国籍研究員、教員・職員海外出張数、協定校等交流状況 |
| 9. 社会貢献 | | 公開講座、講演会展示会、オープンキャンパス |
| 10. 評価改善活動 | | 自己点検・評価、第三者評価 |

評価項目とデータ・指標の関係

- 「教育・研究の水準の判断」の分析項目・基本的観点ごとに挙げられた資料・データ例に対応するデータを整理し、指標を設定

例：教育水準

分析項目Ⅰ 教育の実施体制

| 観点 | 資料・データ例 | データ 指標 |
|--------------|---------------------|---|
| 1-1 基本的組織の編成 | 学科(課程)・専攻等別の学生定員と現員 | 学生数(年次別、男女別)、定員、入試受験者数、合格者数、出身地別入学者数、留学生数等 1. 学生数の課程別割合 2. 学部生に対する大学院生の比率 3. 入学定員充足率 4. 受験者倍率 5. 女性学生の割合 6. 社会人学生の割合 7. 留学生の割合 |

- 指標の高低が優れた状況や改善が必要な状況を直接的に示すものではない。

大学・評価者への提供資料(1)

現況分析用の資料

- 現況分析は、学部・研究科等の教育研究の水準を判断するものであるため、次の様式で資料を作成
 - 学問分野(学系)ごとに提供資料を作成
 - 分析単位は学部・研究科等が基本(いくつかについては学科・専攻等も)
- 評価対象大学への提供用と、機構の評価担当者への内容は原則同じ
- 表とグラフを作成
 - 表には、評価対象大学のデータ・指標と、全大学の平均値等の値のみを提供し、他大学の名称・データは示さない
 - グラフには、全大学の分布状況を示し、評価対象大学の位置がわかるように表示
 - 調査票自体も大学・評価者へ提供

大学・評価者への提供資料(2)

達成状況評価用の資料

- 現況分析と同様の様式を大学単位で集計し提供
 - 中期目標において大学単位での目標を挙げている場合に活用
 - 学内の学部・研究科等ごとの内部構造も表示
 - 大学単位の集計値は、学部構成などによって大きく影響を受けるため、大学単位の分布グラフは作成しない。
 - 大学全体の基礎的な情報(学生数、教員数等)を含む

今後の日程

| | |
|--------------|------------------|
| 平成19年5～6月 | 中期目標期間の評価に関する説明会 |
| 平成19年6月13日以降 | データベースに関する資料等の配布 |
| 平成19年7月初旬 | 大学情報データベースの説明会 |
| 平成19年7月 | 組織登録、ユーザ登録 |
| 平成19年7～10月頃 | 各大学でのデータ入力期間 |
| 平成19年11月末頃 | 各大学への集計データの提供 |
| 平成20年7月頃 | 平成20年度データの入力・提供 |